

学習の指針（シラバス）

教科名	音楽科	実施学年	3年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けることができる。
- ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽評価をしながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しむができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	曲想を生かして、表現を工夫しよう 「校歌」 「学年合唱曲」 「リズム」	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や、音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ・最上級生としての気持ちの高まりを歌声に込めて、おおたかの森中の伝統となっている曲を歌い上げる。 ・楽譜の中にある基本的な音符や記号を知り、表現に生かす。 	3	評価カード (毎時間)
	5 6	日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう 「花」	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想や音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 	3	歌唱テスト
		日本の伝統芸能の特徴を理解して、その魅力を味わおう 能「羽衣」	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、能の美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 	3	鑑賞プリント
	7	音階の特徴及び音のつながり方の特徴を生かして表現を工夫しよう 「My Melody」	<ul style="list-style-type: none"> ・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある表現を創意工夫してオリジナルの旋律をつくる。 	4	創作プリント
第2学期	9 10	パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう 合唱コンクール学級自由曲 オリジナルリズムアンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を味わい、音の重なり方やパートの役割を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。 ・作品のイメージをふくらませながら表現を工夫して、クラスの力で合唱曲を仕上げる。 ・さまざまな合唱を聴き合って、表現を高め合う。 	8	歌唱プリント 歌唱テスト
	11	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう 「ブルタバ」(モルダウ)	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の特徴との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解するとともに、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 	4	鑑賞プリント

第2・3学期	12 1	旋律に合わせて、伴奏の響きを味わおう 器楽「ギター」	・音階の特徴及び音のつながり方について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を工夫して音楽をつくる。 ・創作した音楽を、楽器の仕組みや弾き方を知り、技術をみにつけ演奏する。	4 2	観察評価 創作プリント 創作テスト
第3学期	1 2	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう 3年生を送る会学年合唱曲 卒業式答辞の歌 卒業の歌	・歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりやパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。 ・「3年生を送る会」「卒業式」に向けて、さまざまな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。 ・3年間を振り返り、思い出深く合唱活動に参加するとともに、3年間の集大成となるような合唱を響かせる。	4	観察評価 歌唱プリント 歌唱テスト

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ・歌唱、創作テスト
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ・歌唱、創作テスト
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ☆歌唱、創作テスト ☆自己評価カード

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・楽譜が配られたら、自分のパートの部分に、ラインマーカーで印をつけておきましょう。
- ・楽譜に書かれている音楽記号に○をつけましょう。
(ppp pp p mp は 青○で囲む。 mf f ff fff は 赤○で囲む。)
- ・新曲に取り組む際は、音取り係はパート練習で困らないように、担当しているパートの音取りをしておきましょう。
- ・学期に1回、歌唱テストを行います。人前で、一人でも、堂々と歌えるように練習をしておきましょう。
- ・鑑賞プリント等の提出物は、必ず提出しましょう。定期テストを実施しないため、授業プリントがとても大切です。

5 教材等について

- ・教科書：中学生の音楽2，3年上、下 中学生の器楽（教育芸術社）、
- ・副教材：コーラスフェスティバル（正進社）
- ・その他：音楽ファイル、楽譜ファイル

※音楽の学習道具は、学校に置いてよいものです。